

しおさい看取り介護のご紹介

しおさいで看取り介護を受けられたご家族より

しおさいの皆様

私の夫は三月半ばに、今年の桜の花を見ることなく逝ってしまいました。

二年と四ヶ月足らず、仁摩しおさいでお世話になりました。

その間、スタッフの皆さまの献身的なご介護をいただき夫も穏やかな気持ちで日々過ごす事ができておりました。

入所して間なしにコロナが流行り外泊も面会も自由に出来なくなり、面会は窓越しとなりました。その間、施設の皆さまには本当に良くしていただき、日々、安心する事ができておりました。

今年三月に入り、しばらくして食べる物も水分も受けつけなくなり、危険な状態となりました。

入所の頃から私が強く望んでいた事が二つ。

・延命治療はしない。

・最後は家で迎えさせたい。と云うことでした

お医者様はじめ施設のスタッフの皆さまの素晴らしい連携プレーにより、急遽家に連れて帰る事になりました。

本人も家に帰った事が解り、私も「お父さん、家へ帰ったのよ、良かったね。」と云いますと、ウン・ウンと頷いたようでした。

私は夫の手をさすりながら、「お父さん、ありがとうございます。」と何度も云いました。

そして夫は旅立ちました。

私は主人を家に連れて帰れたこと、それを本人が理解できた事が何よりも嬉しく、ありがたく思っております。

このように素晴らしい別れが出来た事に心から御礼を申し上げます。感謝の気持ちで一杯です。

私の願いを叶えるべく、お医者さま、スタッフの皆さまがご尽力下さった事、今、私が爽やかな気持ちで日々を過ごしている事、お世話になった事、重ねて御礼申し上げます。

ありがとうございました。

コロナ禍で大変な状態が続いておりますがどうぞ皆さまご自愛下さって、今後益々のご活躍をお祈り致しております。

四月某日

しおさいスタッフより

介護職員より

『お家での様子を間近で拝見し感動しました。私も施設介護の可能性を再確認できました。ありがとうございました。』

看護職員より

『奥様よりゆるぎない想いを伺っておりました。想いに添ってタイムリーに対応できて良かったです。ありがとうございました。』

機能訓練指導員より

『ご本人が家族写真を見つめる表情や、奥様面会時の思い出話を伺い、ご夫婦の絆を感じておりました。帰れて良かったです。』

管理栄養士より

『家族写真を大切にしておられる姿が印象に残っています。ご希望に添え嬉しく思います。ありがとうございました。』

介護支援専門員より

『私も「家へ帰りましょう」と言葉にできて良かったです。多くの関係機関の惜しみない協力にも助けていただきました。』

生活相談員より

『私は初めて自宅看取りの対応をさせて頂きました。ご本人も自宅でご家族と触れ合えてさぞ喜ばれたと思います。』